

第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館展示 「愛される建築を目指して」 キュレーターは大西麻貴氏に決定

国際交流基金は、2023年5月20日（土）から11月26日（日）にかけて、イタリア・ヴェネチアにおいて開催される「第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」の日本館展示を主催します。このたび、展覧会概要が決定しましたので、お知らせいたします。つきましては、貴媒体でのご紹介やご取材を何卒よろしくお願い申し上げます。

記

■第18回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 概要

タイトル：愛される建築を目指して（英題：Architecture, a place of mind）

主催／コミッショナー：国際交流基金

キュレーター：大西 麻貴（建築家、一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希/o+h 共同主宰）

副キュレーター：百田 有希（建築家、一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希/o+h 共同主宰）

出展メンバー：森山 茜（テキスタイルデザイナー・アーティスト）

水野 太史（建築家、水野製陶園ラボ代表）

dot architects（建築家）

高野 コリカ（写真家）

原田 祐馬（デザイナー、UMA/design farm 代表）

多田 智美（編集者、MUESUM 代表）

（敬称略）

■第18回 ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 全体概要

会期：2023年5月20日（土）～11月26日（日）

会場：ジャルディーニ地区（Giardini di Castello）、アルセナーレ地区（Arsenale）など

総合ディレクター：Lesley Lokko

総合テーマ：The laboratory of the Future

公式ウェブサイト：<http://www.labiennale.org>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

■大西麻貴（おおにし・まき）

1983年 愛知県生まれ、2006年 京都大学工学部建築学科卒業、2008年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。2008年より「大西麻貴+百田有希/o+h」を共同主宰。

2016年～京都大学非常勤講師。2017年～横浜国立大学大学院 YGSA 客員准教授。2022年～横浜国立大学大学院 YGSA 教授

主な作品「シェルターインクルーシブプレイス コパル(山形市南部児童遊戯施設)」(2022年)、「多賀町中央公民館 多賀結いの森」(2019年)、「Good Job! Center KASHIBA」(2016年)、「二重螺旋の家」(2011年)など。

主な受賞に、第2回日本建築設計学会賞大賞(2018年)、JIA 新人賞(2018年)、日本建築学会作品選奨・新人賞(2019年)など。



■キュレーター・ステートメント

東日本大震災以降、地域におけるつながりや、ともに作る大切さが見直されている現在もなお、都市では新たな開発が進み、均質で管理された空間が再生産され続けています。発注者や設計者の顔は見え、施工は複雑・分業化し、誰も知らないところで建設が進んでいくことで、建築はますます人々から遠ざかり人々を孤立させているように感じられます。現代において、果たして建築は愛されているでしょうか。

一方で、互いの違いを認め、違いを大切にインクルーシブな考えが芽生えてきたことで、一つの価値観が全体を覆うのではなく「個」から出発した小さな共感の輪が重なりあいながら、全体を包摂していく社会へと変化していく兆しが見られます。そのような社会では、均質化や効率化から離れた、個性的で寛容な建築が必要となるはずで、それらを仮に「愛される建築」と名付けたいと思います。

建築は通常、人や自然から離れた人工物だと思われていますが、ふとした瞬間、それらに生命が宿るように感じる場合があります。例えば縄文時代の竪穴式住居や、茅葺き屋根の民家を見ていると、どこか毛むくじらの動物がうずくまっているような、あるいは蓑を来た旅人が一休みしているような様子を連想してしまいます。そのように、部材を組み合わせたというよりは、撫でてみたくなったり、体温が感じられたり、自分の思い通りにならないところがある、生き物のような建築を考えてみるところから、建築を捉え直せないでしょうか。

建築が自らの意志を持ってそこに佇むような、寛容であたたかく、多くの人々が自然と巻き込まれる「愛される建築」の可能性を、ともに考え、深めていくことが本展示の狙いです。

愛される建築とは

分節的というよりは、有機的

組み立てるというよりは、生まれ育っていく

美しいというよりは、愛おしい

アノニマスというよりは、個性がある

人工物というよりは、生き物のような

「ある」というよりは、「いる」

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

■ ヴェネチア・ビエンナーレ (Biennale di Venezia) について

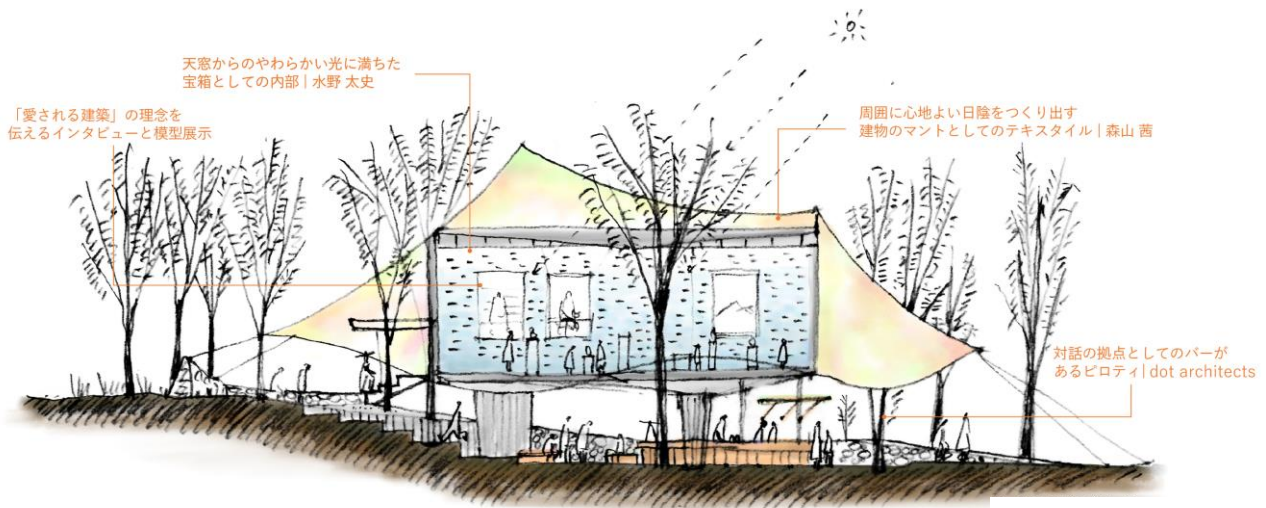
ヴェネチア・ビエンナーレは、イタリア・ヴェネチア市の市内各所を会場とする国際的なフェスティバルです。1895年に最初の美術展が開かれて以来、120年以上の歴史を刻んでいます。近年、世界各地で美術を中心に、国際展が開催されていますが、ヴェネチア・ビエンナーレはそれらのモデル・ケースとなった最も著名な存在です。「ビエンナーレ」とは「2年に一度」を意味するイタリア語で、同様な国際展の多くが「ビエンナーレ」や「トリエンナーレ」（3年に一度）と命名されているのは、ヴェネチア・ビエンナーレに範をとったものとされています。ヴェネチアには現在、美術展、建築展、音楽祭、映画祭、演劇祭の各部門がありますが、建築展は、現代の建築の動向を俯瞰できる場として、また国別参加方式を採る数少ない国際建築展として世界の注目を集めています。

■ 広報用画像

画像を希望される方は、広報担当の熊倉、原田（press@jpf.go.jp）までご連絡ください。

【ご使用時の注意点とお願い】

- ・画像のご使用は本展の広報目的のみに限ります。
- ・画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報及び所定のクレジットを必ず記載してください。
- ・画像の改変（トリミング、部分使用、文字のせ含む）、画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・事実関係確認のため、出版前に記事校正を広報担当者までお送りください。
- ・掲載誌又は、掲載記事を広報担当者までお送りください。

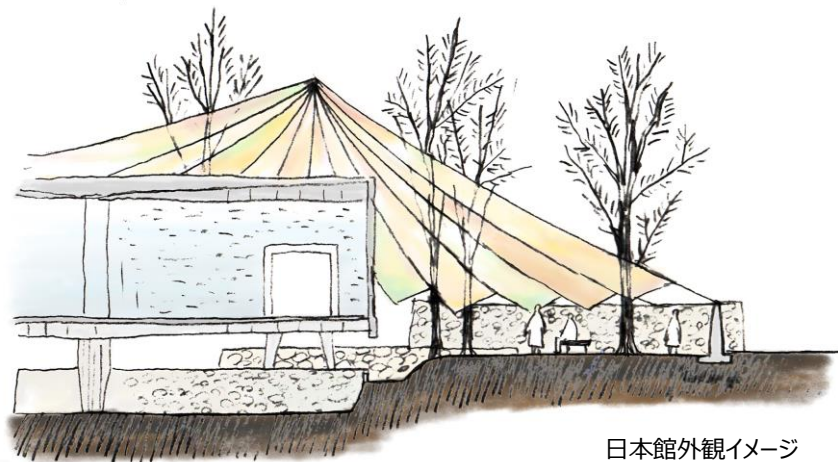


展示コンセプトイメージ

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

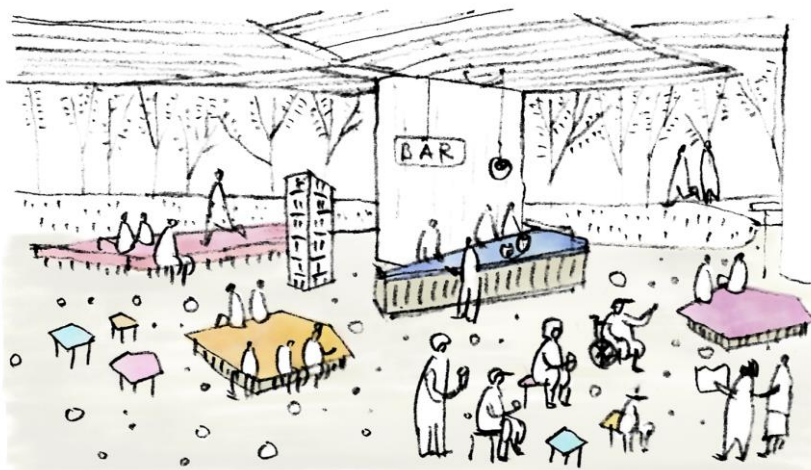
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp



日本館外観イメージ



日本館館内イメージ



日本館ピロティイメージ

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp